

令和8年度 第3学年 音楽科 年間指導計画 予定年間授業時数： 38 時間
使用教科書：教育芸術社
使用副教材：コーラスフェスティバル（正進社）
教科の学習目標： <ul style="list-style-type: none"> 大きな声を発声する歌唱学習 リコーダーの正しい指遣いを理解すること、代表的な和楽器を理解する器楽学習 様々な演奏形態があることを理解する鑑賞学習

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	器楽への取り組み 「ブルタバ」、「ボレロ」、舞楽、能、狂言、能楽の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 音楽には様々な演奏形態があり、それぞれに多様であることを知る 時代や地域によって多様な演奏形態があることを知る 日本の総合芸術、表現活動について理解、考察を進化させる
2	学習発表会への取り組み 器楽（リコーダー）の取り組み ふるさと 鑑賞と器楽 箏、尺八、和太鼓を中心とした和楽器の考察 (3学期も継続して取り組む)	<ul style="list-style-type: none"> 歌声の違いと声域の種類を理解し、発声の方法を身につける それぞれの合唱の響きの違いや良さを感じ取る 自分のクラスだけでなく、他クラス、他学年の合唱への姿勢や良さを感じ取る 2年次より日本の伝統楽器についてより理解を深める 2年次より楽器の多様さや音色についての理解を深める アジア、諸外国の特徴的な楽器について考察する
3	在校生としての 卒業式の国歌式歌の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 3年間の合唱活動のまとめとして、正しい発声法を再確認し深化する 3年間の器楽活動のまとめとして、正しいリズムを確認し深化する

評価の観点・方法 以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点(全体に対する割合)	観点の趣旨	評価資料
観点1 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 旋律や歌詞の強弱関係を理解して、効果的な表現をすることができる 他の声部との調和を生かしながら、声域に合った発声ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱テスト リコーダーテスト 定期テスト 自己評価・授業態度
観点2 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の意味を感じ、強弱を感じ多様な曲想に合った表現活動を工夫することができる 多様な合唱の響きや特徴を感じ取ることができる 各楽器の音色や演奏効果など、それぞれの楽器の特徴を感じ取ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱テスト リコーダーテスト 定期テスト 自己評価 授業態度
観点3 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱も器楽も曲種に合った発声、強弱の変化をつけた表現活動に関心を持つ 様々な演奏形態の音楽を鑑賞し、それぞれの音楽へ関心を持つ 音楽の背景となる文化、歴史、その他の芸術にも関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱テスト リコーダーテスト 定期テスト 自己評価 授業態度